隊

長

髙

正

尉

は

中

· 隊 23

訓 日

練

6

月 22

日

金

から

 \pm

ま

近

解射撃を

21

日

(木)

闘団

の 行

前 V

衛

砲 追シミ 距離

ユ 1

・タに



を占

領

速や

かに警

戒

態勢を整え、

 \mathcal{O}

撃

手にも適

7

早朝

攻撃 その

備

え

A C

Т 7

Е

行

S

С 敵

よる 襲

練

検

関に 一切に

お 対

Ŕ

限

5 \mathcal{O}

れ

た時

間内

定

作

戦

加

え臨 訓

機

 \mathcal{O}

戦

闘

を 1 処

随 7 L

所

発揮

;し任務を完遂した。

8

日 検

に至近

距離

射

関に

先 藤 日

立ち

6

日 は カン

水)

砲迫シミュ

タによる練度判定

隊

長

加 10

1

尉

中 6

隊

訓

練検閲を受閲し

6

月

月

11

日

月

ま

で

 \mathcal{O}

間

第

4

普

通

科中

隊



闘 る任務を付与された第 行 進により整斉と集結 闘 団 $\overline{\mathcal{O}}$ 前 衛 中 -隊とし して主力 地 4 普 1移動 通 科中 \mathcal{O} 前 進 隊 を掩 は、 後

审

た 以 砲 成 迫 下 30 火力を A C 年 -度機 駆 Т 械 科部 使 ESCという) 隊 勇 | 戦闘訓 猛 果敢な攻撃 練 0 評 幕 価支 一行動 \mathcal{O} く援セ 切 り落と を 展開 タ での て任務を完遂 方 式 訓 練検 よる 訓

が撃を行 準備を万全の態勢で整えた。 10 日 カン 5 \mathcal{O} 訓 練 検閲を迎えた。 夜



隊

訓

練 等、

0 部

外

0

方

Z

訓

練を研

修 4

L

き

部

モニ

防 頂

衛

干

揮官の

揮及び

隊

理解を得る

とが出来た。

、る任務を付与された第 .よる練度判定を8日 進により整斉と集 検閲を受閲し 中 22 で ||除と \mathcal{O} 日 間 カン 結 L 6 金) て主 地 6 $\bar{\mathcal{O}}$ 第 普通 訓 6 · 移 力 練 普 隊容検· ||検閲に 科中 動 \mathcal{O} 通 前 科 進 中 隊 を掩 臨 後 は、 査 隊 及 W 中 夜







中隊

長

小

尉

れ

たA

C 林

T

E

]] 尉

瀬 3

佐

第3

0 指

各中隊



【発行所】 普通科友の会

【協力】 第11普通科連隊 第1科広報班

【印刷所】 (株) フロンティア印刷

[AC-TESC 4 普中・6 普中訓練検閲」

(笙2面) ,2 區》 「春季演習場定期整備」

(第3面) , 「補助担架員練成訓練」 「師団創隊記念行事」 「第62回銃剣道全日本優勝大会 「第61回全国銃剣道能美大会」 「日本拳法全国選抜社会人選手権 大会」 「第12回自衛隊拳法富士山大会

第4面) マラソン大会支援」 「千歳機甲太鼓演奏支援」

(第5面) 「平成30年度自衛官候補生 課程修了式」 (第6面)

「定期昇任」 「定年退官者紹介」 「連隊ホームページ紹介」 (第7面)

,, 「NET99便り」 「普友会コーナ 「担当者の独り言」

第8面) 「豪州主催国際射撃大会」 「RedBull400 大倉山自衛隊の部

連隊行事予定

【7月】 隊内生活体験

3 中・通信小隊訓練検閲 [8月]

ノーザンスピリット ・市民盆踊り [9月]

• 郷土伝統芸能奴道中支援 小火器射撃競技会

かった。

0

維持、充実に寄与するべく担当区域の整備任務にとりか

各中隊は中隊長を核心として一致団結、

北海道大演習場

(月)までの

春季演習場定期整備を実施した。

訓練場整備









演習場支障木伐採







炊事競技会の前哨戦として統裁予行を行い炊事能力の練度 春季演習場定期整備を無事に終了した。 を確認した。 また、秋季演習場定期整備間に実施を予定している連

安全に充分配慮をしつつ整斉と任務を遂行して平成30年度 不発弾捜索や野焼きにおいても指揮官の的確な統制の 下

不発弾捜索 9日(水) 11普通科連隊は5月8日(火)から14日







炊事競技会 統裁予行





12日(土) 野焼き





第3普通科中隊は春季士気高揚期間中の5月4日(金)から5日間の 日程で予備自衛官招集訓練を実施した後、演習場定期整備に移行した。







連隊は、 各中隊

5月

13

日

(日)

カン

ら5月15日までの

の補助担架員に対し補助担架員練成

歲駐屯地

創立64

周年記念行事が行われ

月 27

日

日

第7

師団創隊63

周年

補助担架員練成訓練

自らの任務の重要性を深く認

連隊の救命率向上のための

参加した

れる。

訓練を実施した。 的な練成訓練により練度の維持と向上が求めら 隊員の命を救う必要不可欠な技能である。 28名の隊員らは、 技術を付与することを目的に行われ 及び技能を練成し、 練成訓練は、補助担架員としての必要な知識 第

法の各課目を演練した。 補助担架員の持つ技能は、 線救護、 救急処置、 衛生隊員とともに 救急法検定指導

継続

節固創隊記念行

披露した他、

慰霊碑前では第1中隊による

糸乱れぬ弔銃により英霊の魂を弔うなど、

幅



3中隊の装甲戦闘車も参加し、 隊者を迎え、 大きく上 祝賀パレードの後に行われた模擬戦 当日は晴れわたる青空のもと、 一回る、 盛大な記念行事が執り行 史上最多の約2万1千人の来 迫力の戦闘 昨年までを には第 われ

広い活動を披露した。 ふれあい広場等では千歳機甲太鼓の演奏な

れや来隊者は思い思いに楽しい 各種イベントも開催され、 訪れた家族連 日を過ごし







に出場した。

八選手権大会及び6月30日

土

連隊

拳法訓練隊

は、

6

月 16

日

第62回全日本銃剣道優勝大会 第61回全国銃剣道能美大会



は三回戦まで 道優勝大会で 全日本銃剣

駒を進めたが 厚さを痛感した大会となった。 「戦進出までとなり、 全国銃剣道能美大会 全国の

剣道

訓練隊は更なる飛躍を図る。

の経験を今後の大会への糧とし、

全日本銃剣道優勝大会及び6月 連隊銃 石川県で行われた第61 日本武道館で行われた第62 剣道訓練隊は 4 回 月 全国 10 16 口 日 日

月)

11

練隊は高みを目指し走り続ける。



(日)

剣道能美大会に出場した。

本拳法全国選抜社会人



きな成果を残すと、 塞がるだろう。 う至高の目標を達成した。 続く富士山大会では を成し遂げ、 『優勝』という大 今後は覇者として迎え撃つ立場とな 全国の強豪が連覇を阻むべく立ち それでも11連隊拳法訓

東京都で行われた日本拳法全国選抜社会 で行われた第12回自衛隊拳法富士山大会 社会人選手権大会で北海道勢初となる 静岡県 主

全国の頂点を極めるとい 『2連覇』 の偉業

第38回千歳JAL国際マラソン大会支援

6月3日(日)本部管理中隊(中隊長 田原1尉)は、公益財団法人千歳市体育協会が主催する、第38回千歳 JAL国際マラソン大会において、通信、救護、給水等の支援を実施した。

今年は275名の海外選手を含む10,999名がエントリーし、9,872名の選手が自身の限界に挑み各コースを駆け抜けた。その大会を影ながら支えるため、通信小隊により各関門の通過状況や各給水地点間の通信支援、衛生小隊により要救護者への救護支援、併せて各給水地点への水の搬送支援を実施するとともに、千歳機甲太鼓の演奏により参加ランナーや地域の方々を魅了した。

本支援を通じ、大会の安全と円滑な運営に寄与するとともに、参加ランナー、地域の方々、大会ボランティア等との交流を深め、自衛隊に対する信頼感の醸成を図ることができた。











▲▼ 千歳JAL国際マラソン大会



本誌の記事で紹介した、第7師団創隊63周年本誌の記事で紹介した、第7師団創隊63周年記念行事及び第38回千歳JAL国際マラソン大会において、千歳機甲太鼓の演奏が行われた。 の広報活動として、多忙な隊務の合間に練成をあた報活動として、多忙な隊務の合間に練成をあた報活動として、多忙な隊務の合間に練成をの人々の心を捕らえ、温かく大きな拍手となって会場に響き渡っていた。





千歲機甲太鼓演奏支援

平成30年度

自衛官候補生課程修了式

6月24日(日)、東千歳駐屯地西体育館において、自衛官

約110名のご来賓やご家族が見守る中、約3ヶ月間の厳し い教育訓練に耐え、晴れて修了式を迎えた50名の若者たち。 互いに励まし合い、互いに切磋琢磨した同期の絆は、時が経 とうとも離れ離れになろうとも消える事はない。自衛官となっ



▲ 4/8 入隊式



▲ 4/20 練度判定

候補生課程修了式が執り行われた。



▲ 5/8 10km行進



▲ 5/15 催涙ガス体験







▲ 6/12 修了検定(歩哨)



▲ 6/24 修了式

た誇りと共に、仲間との絆もその胸に刻み続けるだろう。





▲ 5/24 検定射撃



▲ 5/29 掩体構築訓練



▲ 6/11 修了検定(戦闘訓練)



▲ 6/8 体力検定



▲ 6/5 てき弾射撃



▲ 5/30 25km行進





永年の勤務 お疲れ様でした 新転地でのご活躍を 期待しています

退 官者



3尉 谷村 誠 (平成30年7月1日付)



准尉 小林 聡 (平成30年5月23日付)



3尉 葛西 一晃 (平成30年4月17日付)



准尉 輪島 孝則 (平成30年4月2日付)

パソコン・スマホで 1 1 連<mark>隊の事が</mark>分かる! 右の画面が目印→ 第11普通科連隊 ホームページ ヘアクセス!

※逐次更新中!!



第11普通科連隊ホームページ



そして、

ような気もします。

は徐々に冷めていくと共に、

よく考えてみるとこれらの事を一度手にした幸せ感は一瞬で、

欠けたのでは

織

(部隊)

の

なかの自分。

取り分け自衛官としての身分。

人や組

国が必要としているのは隊員一人一人の皆さんであり、

「究極の幸せ」にはなり得ません。

N E T 99

相

談員

後藤幸夫

三つの項目が重要なポイントになっており、

行き着く先には「人が

言葉も人との関わりの中で「自分が果たせる役割」のようなことを求

紹介した「究極の幸せ」は、

何かを求めているわけではなく、どの

ようとすることが見てとれます。そして、一つの項目には必ず他

組織が自分を必要としている」ことに辿りつくのだと思います。



八間にとって、 究極の幸せとは

人の役に立つこと 人に愛されること

人に必要とされること 人に褒められること

この、

お寺の宗師

(住職)

現会長)

日

どれをとっても幸せとは言えない

究 極 の 幸 せ ع は

担

当者の

独り

言 ~

NET99へのお申し込みは 臣_011-572-9900(要付0900~2200

本で一番働き易い会社」として、 が従業員の幸せを求めて苦悩している中で、 から頂いた言葉を今も社訓として引き継がれて 国から表彰された会社の社長 相談に訪れた 11普連OB

を得ることが幸せと思いがちになるのではないでしょうか。しかし、 ば物やお金など「手にする」ものとか、達成感や満足感など「結果. 幸せに対する価値観は人それぞれだと思いますが、どちらかと言え より多くの幸せを求めようとして苦悩するのが人間の本質の とあるテレビの特集番組で紹介されていた言葉です。 やがて物足りなささえ感じてしまいます。 その後

普通科友の会会員の皆様・第11普通科連隊の皆様、いかがお過ごしでしょうか、日頃から普通科友の会の各種 事業活動に対し積極的にご参加、ご協力を戴き感謝申し上げると共に厚く御礼申し上げます。

普通科友の会では6月から平成30年度の各種事業活動がスタート致しました。 今年度は普通科友の会が発足し てから30年目の節目の年になります。 昨年は役員の改選期でありましたが、総会の席で大事な行事を目前にして 現体制で継続する事を提案し、 全会 斗賀山会長以下役員 一致で承認されました。 一同、 更に気を引き締めて心に残 努力を惜しまず頑張る所存でおりますので会員皆様の更なるご協力をご期待申し上げ る有意義な記念となるべく、 本年度も母隊である第11普通科連隊との絆をより密接に深め、 普通科友の会として努力を惜しまないつも りでおります。連隊の皆様も日々の訓練はもとより複雑多様化する各種の任務を完遂しつつ何者にも劣らぬ強靭な 体力気力を練成して、訓練目標達成に頑張って下さい。

普通科友の会は斗賀山会長をはじめ会員の精神は常に母体と共にあり、心から応援しております。

平成30年6月 普通科友の会 副会長 浅野二美

☆お知らせ

本年度も合同パークゴルフ大会を予定しておりますので多くの方々の参加をお待ちしております。

表した胸に残る歌詞だという事を、たった一言でて温かく眩しい存在だとをかれます。自分にとっと表明する歌詞に無性に 思い 光 あなたにとって ま 切 は、 に 見想う人 誰です 担当 を かの?

ー かたしの光』という歌詞 曲には『今でもあなたは 1・1」という 光と ましたが、もう一つ。以前にも歌の話題を C | と KENさんの「コロ ありがとう あなたは そして米津玄師さん いう歌詞がありま いう楽曲の中に、 m o n」という

者 Щ ĴΠ

豪州主催国際射擊競技会

A A S A M 1 8

第4番通科中隊 3等陸曹 角谷 俊 我が国初となる世界1位の快拳!(拳銃各個射撃応用)

4月から5月にかけオーストラリアで開催され18カ国から180名を超える選手が参加した豪州主催国際 射撃競技会に、第11普通科連隊から4名の隊員が参加した。

北部方面隊代表に選出され富士学校で行われた最終選考を勝ち抜き、日本代表の座を掴んだ第4普通科中隊 角谷俊3等陸曹と本部管理中隊 杉山和樹3等陸曹、代表入りとはならなかったものの最終選考まで残り予備 要員として参加した第6普通科中隊 渡邉博3等陸曹、そして昨年の同競技会のチャンピオンショットでベス ト10に入りメダルを獲得した第1普通科中隊 清水勇作3等陸曹が指導者として参加し、4名が一丸となっ て陸上自衛隊を代表して世界に挑んだ。その中でも角谷3曹は拳銃各個射撃応用の部で世界第1位という最高 の栄誉を手中に収め、我が国初の快挙を成し遂げて凱旋帰国を果たした。

角谷3曹は拳銃各個射撃応用での金メダルの他に、拳銃応用(シークレットマッチ)でも銀メダルを獲得し、 杉山3曹は拳銃応用(ラピッド)で152名中14位に入った他、多くの競技で上位に食い込み、日本チーム の3位入賞に大きく貢献した。

今後も射撃技術向上を担う彼らの経験と技術は、連隊の貴重な財産となるだろう。



▲ 左から6中隊 渡邉3曹、本管中隊 杉山3曹 4中隊 角谷3曹、1中隊 清水3曹



▲ 世界で活躍した彼らを連隊隊員 全員の笑顔で出迎える



▼ 金銀両メダルを胸に微笑む4中隊 角谷3曹(右)と上位の成績を残し た本管中隊杉山3曹(左)

RedBull400大倉山 自衛隊の部 優勝

5月上旬、大倉山ジャンプ競技場で行われた「RedBull400 大倉山」に第3普通科中隊から4名の有志が出場し、自衛隊の部に参加 した14個チームの熱戦を制し、見事優勝の栄冠に輝いた。

競技は、大倉山ジャンプ競技場の斜面に設置された特設コースを一人

100mずつ駆け登るリレー形式で 行われ、一般の部及び大学生の部も 併せた全参加チームの最高タイムを 叩き出した3中隊チームは、実質的 な総合優勝となった。

後日の記念撮影では、優勝チーム に贈られる盾を手に笑顔で撮影に臨 んでくれた。



▲ 左から安保士長、平間1曹 須田士長、齋藤3曹